

# 稲作情報 No.1

## 水稻育苗(浸種温度の徹底)・大麦越冬後生育

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

### 【水稻】

#### ○状況

・令和8年産の水稻種子は、令和7年度の登熟期間が高温であったため、**種子の休眠が深い可能性**があります。

#### ○対策(浸種、育苗方法の詳細は裏面に記載しています)

- ・**種子の浸種温度を適正(12.5℃~15.0℃)に設定してください。**
- ・種子が鳩胸状態に揃わない場合は、浸種日数の延長、ハトムネ催芽機の使用、育苗器の時間延長などを兼用しましょう。

### 【大麦】

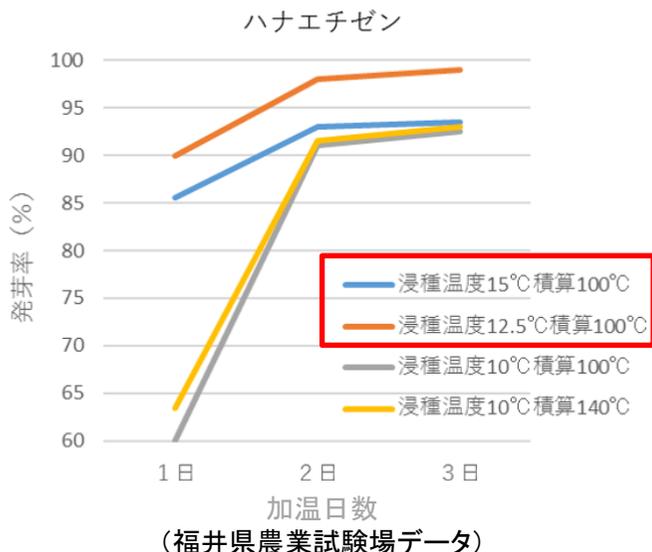
#### ○状況

・大麦(特にファイバースノウ)は、越冬前の好天と適度な降雪により、越冬後の生育が茎数過剰となっています。また、降雨により滞水している圃場も見受けられます。

#### ○対策

- ・圃場内の排水溝を確認し、**崩れている溝があれば手直し**をしましょう。
- ・ファイバースノウでの生育過剰な圃場や、はねうまもちでは、今後追肥が必要になります。**追肥の準備を進めましょう**
- ・圃場内にカラスノエンドウの発生が確認された場合は、早めに手取り等を実施しましょう。

【浸種温度の差による加温後の発芽率】



【理想的な鳩胸状態】



浸種温度が12.5~15.0℃で  
発芽が安定

【大麦への追肥基準】

品種	追肥時期	追肥の判断	追肥量
ファイバースノウ	茎立期後 (3月下旬の見込み)	生育が過剰 (茎数600本/m <sup>2</sup> 超) な場合、実施※	窒素で 2kg/10a
はねうまもち	出穂期頃 (4月上中旬の見込み)	原則実施	窒素で 3kg/10a

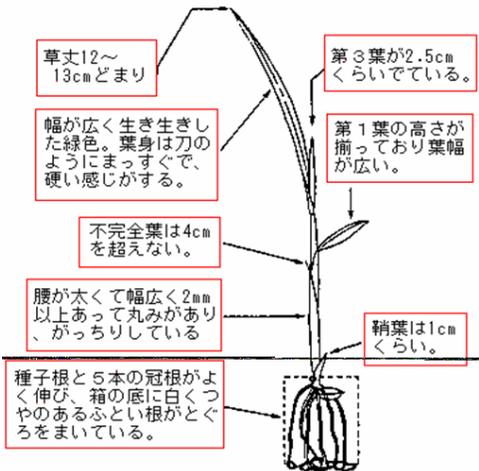
※追肥の判断は、3月中旬の生育を見て判断する  
追肥の判断に迷った場合は、  
県/JA等の営農指導機関にご相談ください

# 水稲育苗

作業	作業の注意点																		
浸種～催芽	<p><b>【種子消毒】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福井県農作物病害虫防除指針を参考に薬剤を選定する。</li> </ul> <p><b>【浸種】</b>（浸種の積算温度の目安は100℃）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤の効果を高めるため、<u>浸種開始後3日間は水を換えない。</u></li> <li>浸種の水温は<u>12.5～15℃</u>とし、<u>絶対に10℃未満にしない。</u></li> <li>浸種の終盤に籾を観察し、吸水ムラがないか確認する。</li> </ul> <p><b>【催芽】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>催芽温度は30℃とし、鳩胸状態に揃える。</li> <li>芽や根を伸ばし過ぎると、播種時に種子が引っ掛かり均等に播種できない。</li> </ul>																		
播種～出芽	<p><b>【施肥量】</b> 床土の施肥窒素量は5月中旬以降に移植するコシヒカリで1.0 g/箱、その他品種で1.5 g/箱とする。</p> <p><b>【播種】</b> 播種量はコシヒカリで一箱当たり130 g、その他品種で150 gとする。</p> <p><b>【出芽】</b> 出芽温度は30℃、出芽期間は2～3日で、芽を伸ばしすぎない。</p>																		
緑化	<p><b>【緑化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出芽苗を育苗ハウスに設置後、急な強光による白化を防ぐため被覆する。</li> <li>床土表面の乾燥程度を確認し、乾いたら少量を灌水する。</li> <li>苗が黄色～黄緑色になったら被覆資材を外す。</li> </ul>																		
硬化、馴化	<p><b>【温度管理】</b></p> <table border="1" data-bbox="341 892 1502 1082"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>昼間</th> <th>夜間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑化</td> <td>20～25℃</td> <td>15～20℃</td> <td>10℃以下、32℃以上にしない</td> </tr> <tr> <td>硬化</td> <td>15～20℃</td> <td>10～15℃</td> <td>5℃以下、32℃以上にしない</td> </tr> <tr> <td>馴化</td> <td colspan="3">移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、32℃以上にしない</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>5℃以下の低温が予想される時は、ストーブなどで加温する。</li> <li>夜間に被覆資材をかけたときは、翌朝が低温でないなら忘れずに外す。</li> <li>育苗ハウス内の生育差が大きい場合は、育苗箱の位置を替える。</li> <li>育苗箱の底面と床面に隙間があると生育差が生じるため、均平にしておく。</li> </ul> <p><b>【換気】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハウス内の気温が25℃以上にならないよう換気する。</li> <li>最低気温が10℃以下や強風時以外は、夜間もハウスの側面の部分を開放する。</li> </ul>			時期	昼間	夜間	備考	緑化	20～25℃	15～20℃	10℃以下、32℃以上にしない	硬化	15～20℃	10～15℃	5℃以下、32℃以上にしない	馴化	移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、32℃以上にしない		
時期	昼間	夜間	備考																
緑化	20～25℃	15～20℃	10℃以下、32℃以上にしない																
硬化	15～20℃	10～15℃	5℃以下、32℃以上にしない																
馴化	移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、32℃以上にしない																		

水温 (°C)	浸種日数の目安
10	10日
12.5	8～9日
15	7～8日

水温は水温計を使って、こまめに確認しましょう



作業	作業の注意点											
硬化、馴化	<div data-bbox="348 104 441 135" data-label="Section-Header"> <p><b>【灌水】</b></p> </div> <ul data-bbox="348 139 1554 342" style="list-style-type: none"> <li>朝、葉先に露があるときは灌水しない。 露がないときや、育苗箱の縁の土が白く乾いているときは灌水する。</li> <li>灌水は晴れた日の午前中に行い1回でたっぷりやる。午後3時以降はなるべく灌水しない。</li> <li>過灌水は発根が悪くなる。</li> <li>夜間の気温が高く床土の水分が高いと、徒長や病気の原因となる。</li> <li>晴天が続く日は、朝昼2回灌水する。灌水量の目安は1箱あたり500ml程度である。</li> </ul> <div data-bbox="1761 135 1978 321" data-label="Image"> </div> <table border="1" data-bbox="364 349 1723 516"> <thead> <tr> <th data-bbox="364 349 627 406">苗の葉齢</th> <th data-bbox="631 349 1185 406">晴天の日</th> <th data-bbox="1189 349 1723 406">曇雨天の日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="364 409 627 459">1.0～1.3葉</td> <td data-bbox="631 409 1185 459">朝1回（高温時は床土が乾いたら少量灌水）</td> <td data-bbox="1189 409 1723 459">行わない</td> </tr> <tr> <td data-bbox="364 462 627 516">1.3葉～</td> <td data-bbox="631 462 1185 516">朝、昼 2回</td> <td data-bbox="1189 462 1723 516">朝1回（天候や状態によって行わない）</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="348 546 441 578" data-label="Section-Header"> <p><b>【馴化】</b></p> </div> <ul data-bbox="348 582 1730 614" style="list-style-type: none"> <li>移植3日前頃からハウスの横面を大きく開けて、苗を外気にならす。ただし、霜が降りる日は行わない。</li> </ul> <div data-bbox="348 642 673 674" data-label="Section-Header"> <p><b>【移植前の薬剤育苗箱処理】</b></p> </div> <ul data-bbox="348 678 1315 709" style="list-style-type: none"> <li>育苗後のハウスで、作物を栽培するときは、箱剤の残留農薬に注意する。</li> </ul>			苗の葉齢	晴天の日	曇雨天の日	1.0～1.3葉	朝1回（高温時は床土が乾いたら少量灌水）	行わない	1.3葉～	朝、昼 2回	朝1回（天候や状態によって行わない）
苗の葉齢	晴天の日	曇雨天の日										
1.0～1.3葉	朝1回（高温時は床土が乾いたら少量灌水）	行わない										
1.3葉～	朝、昼 2回	朝1回（天候や状態によって行わない）										

**気象予報**

1か月予報（2026年3月5日発表）の解説 新潟地方気象台

向こう1か月の天候の見通し  
北陸地方（3/7～4/6）

予報のポイント

- 寒気の影響が弱い為、向こう1か月の気温は平年並か高いでしょう。
- 高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か少ないでしょう。向こう1か月の日照時間は平年並か多いでしょう。

